

科目名		授業形態	担当教員名	
生理学 I		講義	三木 雪子	
時間数 (単位数)		授業回数	年次	開講時期
30 時間 (1 単位)		15 回	1 年次	前期
授業の目的・概要				
人体では、生命維持活動(呼吸・循環・消化吸収・排泄)、外界からの刺激に対する反応や働きかけ(感覚・運動)が絶え間なく行われている。また、これらを調節・統合するために、神経系や内分泌系が働いている。これらの基本的な正常機能を理解し、生命現象への理解を深めることを目的とする。				
授業の到達目標				
・細胞の構造と機能について説明できる ・神経系の構成とニューロンの働きについて説明できる ・各種感覚の神経機構を説明できる。 ・筋の収縮の仕組みと運動神経による調節の仕組みを説明できる。 ・循環調節について説明できる				
授業計画				
回	内容			
1	オリエンテーション 細胞の基本構造と機能(1) : 細胞小器官			
2	細胞の基本構造と機能(2) : 核と細胞機能調節、細胞分裂			
3	細胞膜の働き 神経の基本機能(1) : 膜電位、活動電位、興奮伝導			
4	神経の基本機能(2) : シナプス伝達、神経伝達物質			
5	神経系の成り立ち 感覚器系(1) : 感覚の意義と分類			
6	感覚器系(2) : 一般体性感覚、嗅覚、味覚			
7	感覚器系(3) : 視覚			
8	感覚器系(4) : 聴覚、平衡感覚			
9	運動系 : 骨格筋、筋収縮の仕組み			
10	中枢神経系(1) : 総論、大脳			
11	中枢神経系(2) : 間脳、脳幹 ; 意識、脳波、睡眠			
12	中枢神経系(3) : 小脳、脊髄			
13	末梢神経系 : 脳神経、脊髄神経 ; 反射			
14	循環系(1) : 心臓			
15	循環系(2) : 血管系(動脈、静脈、毛細血管)			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	80%			
レポート				
小テスト	20%	2回授業時間中に行う。事情により課題提出にて変更することあり。		
平常点				
その他				
自由記載	定期試験と小テストで総合評価する。			
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
からだの構造と機能	A. シェフラー他		西村書店	
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
実習にも役立つ人体の構造と体表解剖	三木明徳		金芳堂	
自由記載				
備考				